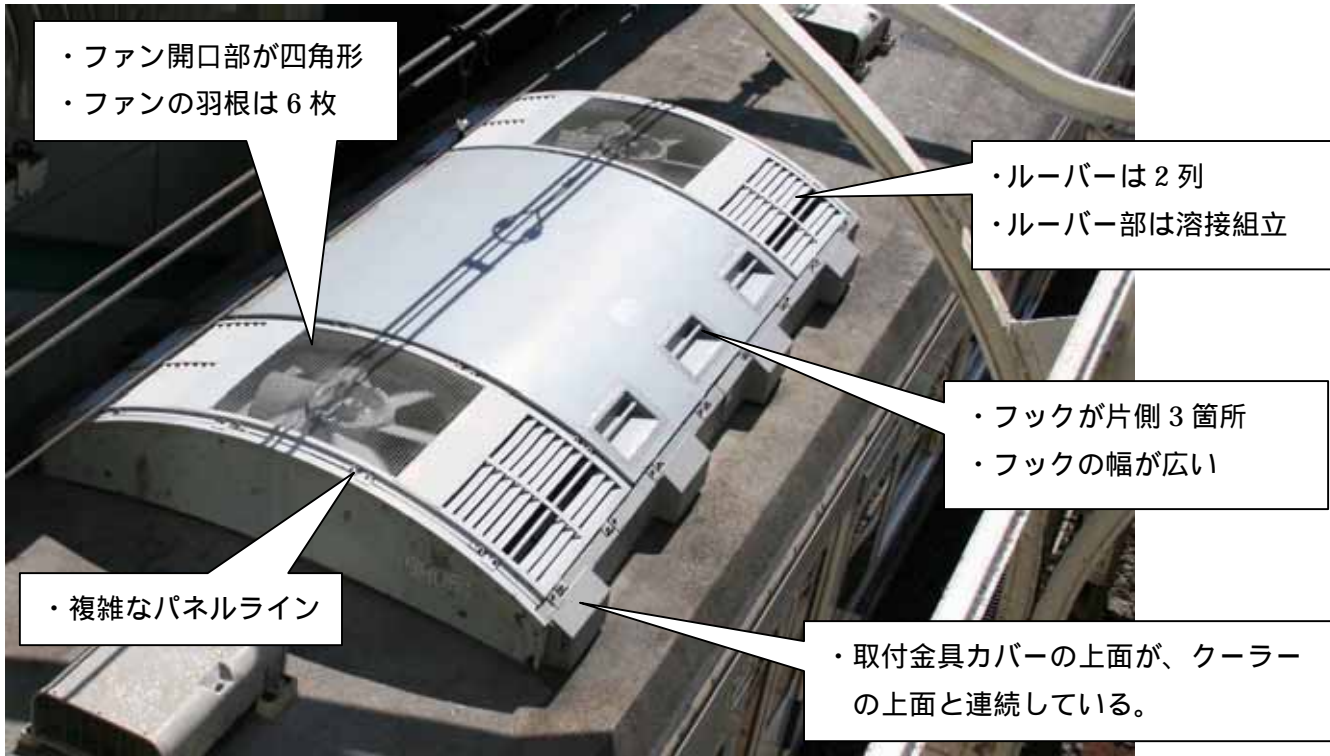
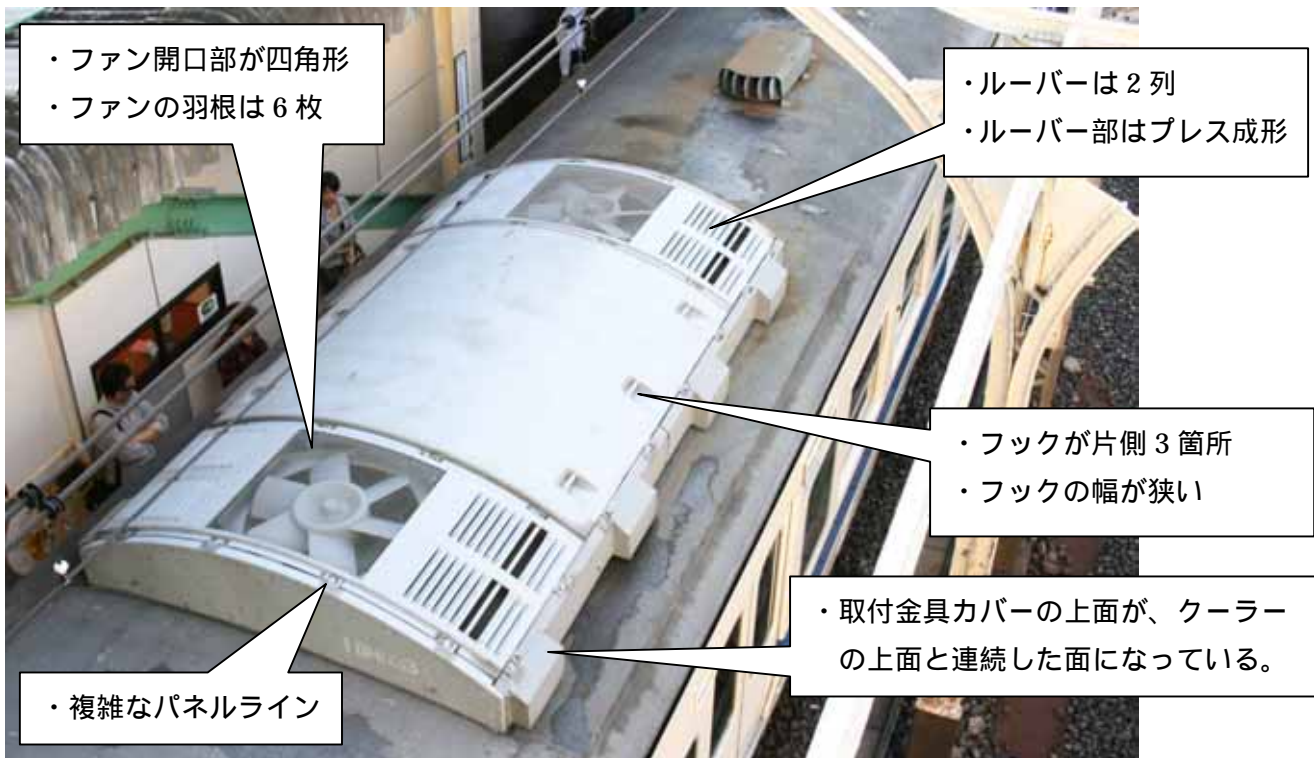


集中型クーラーAU75 型の識別ポイント



AU75・(H) 日立製<溶接ルーバー、フック広>

- ・ Hタイプでも最も初期形態のもの。後年ルーバー部のパネルをプレスタイプに交換している場合もある。
- ・ -model 製 181 AU75(H) に相当。フックが狭いものは、182 AU75(H) <フック狭> に相当。



AU75・(H) 日立製<プレスルーバー、フック狭>

- ・ Hタイプでも最も後期形態のもの。
- ・ -model 製 184 AU75(H) <プレスルーバー、フック狭> に相当

集中型クーラーAU75型の識別ポイント

- ・ファン開口部が丸形
- ・ファンの羽根は14枚
- ・開口部のネット補強が縦横に入っている。

- ・ルーバー部は大きく開口。
- ・横向きのフィンが3本
- ・縦棧が2本

- ・フックが片側2箇所
- ・フックの幅が狭く、縦に長い

- ・取付金具カバーの上面が、クーラーの上面と段違いになっている。
- ・カバーの角が斜めになっている

AU75・(S) 東芝製

- ・Sタイプでもルーバーのフィンが少ない形態のもの。
- ・-model製 183 AU75(S) に相当

- ・ファン開口部が丸型
- ・ファンの羽根は10枚

- ・ルーバーは3列
- ・ルーバー部はプレス成形

- ・フックが片側3箇所
- ・フックの幅が狭い

- ・ルーバーと側面の間が離れている。

- ・取付金具カバーの上面が、クーラーの上面と段違いになっている。

AU75・(M) 三菱製

- ・各社の完成品や、分売パーツのほとんどがこの形態。